

The 84th REGULAR CONCERT

名古屋市民管弦楽団 第84回定期演奏会

NAGOYA CITIZENS' ORCHESTRA

2021年 12月25日(土) 開場/15:00 開演/16:00
愛知県芸術劇場コンサートホール
全指定席(大人・子供)/1,500円

Camille Saint-Saëns

サン＝サーンス 交響曲第3番 八短調「オルガン付き」

Maurice Ravel

ラヴェル クープランの墓

Ferdinand Hérold

エロール 歌劇「ザンパ」序曲



(c)Verena Ecker

オルガン独奏
大平 健介 Kensuke Ohira

指揮
松尾 葉子 Yoko Matsuo

チケットのお取り扱い

愛知芸術文化センター 052-972-0430

公演についてのお問合せ先

名古屋市民管弦楽団 <https://www.nco.jp/> 0574-65-1837(松井)

後援 愛知県、名古屋市教育委員会

新型コロナウイルス感染症対策実施に伴うお客様へのお願い

- ご来場の際は、マスクの着用・手洗い・消毒など十分な感染予防をお願いします。
- クロークは閉鎖いたします。出演者へのプレゼントはお受けできませんのでご了承ください。

- 託児サービスは実施いたしません。恐れ入りますが未就学児童の入場をご遠慮ください。
- 会場内で新型コロナウイルス感染者が出た場合、保健所等の指導に従ってご来場者様の個人情報を提供する事をご了承ください。

The 84th REGULAR CONCERT



Yoko Matsuo PROFILE

指揮者 **松尾 葉子**

セントラル愛知交響楽団特別客演指揮者。1982年フランスのプザンソン国際指揮者コンクールで女性として史上初めて、また日本人としては小澤征爾について二人目の優勝。

名古屋市生まれ。お茶の水女子大学音楽科を卒業後、東京藝術大学指揮科、同大学大学院。在学中に群馬交響楽団の学生のためのコンサートの指揮者を務めた。パリ・エコールノルマル音楽院指揮科でピエール・デルヴォー氏に師事。プザンソン指揮者コンクール優勝後、名古屋フィル、『若い芽のコンサート』でNHK交響楽団を指揮、絶賛を博した。東京交響楽団、読売日本交響楽団、新日本フィルほか、国内の主要オーケストラを次々に指揮。エイボン女性芸術賞受賞。東京二期会公演の『メリー・ウィドー』をはじめ、『こもり』『カルメン』、ヴェルディの『椿姫』『アイダ』『マクベス』、モーツァルトの『魔笛』『ドン・ジョヴァンニ』ほかトーマの『ハムレット』日本初演なども手掛ける。労働省婦人週間のポスターになる。TOYP世界大賞受賞。名古屋しらかわホール、浜離宮朝日ホールでのオープニングコンサートに出演。

1999年にセントラル愛知交響楽団の常任指揮者に就任。名古屋能楽堂での『ドン・ジョヴァンニ』は話題をよび都市文化奨励賞を受賞。2003年『異説カルメン情話』（文楽様式を取り入れたオペラの演奏）、2004年には同楽団の東京公演を行い、この『異説カルメン情話』が絶賛される。2004年、文化庁海外特別派遣としてパリ管弦楽団で研修する。2005年、中部国際空港開港式典、愛知万博ジャパンデー開幕式典の指揮。プザンソン交響楽団、パリ・ラムルー管弦楽団、ベルギー・ブリュッセルの放送オーケストラのコンサート、録音を手掛ける。2017年、北西ドイツフィルハーモニーを指揮。2018年、モンテカルロ国際ピアノマスターズのファイナルでモンテカルロ・フィルを指揮。愛知県芸術文化選奨文化賞受賞。

著書「指揮者にミュージックが微笑んだ」（論創社）、「指揮者、この瞬間（とき）」（樹立社）。中日新聞・東京新聞のコラムを多数手掛ける。1992年より毎年、水彩画を大潮会展に出品。1982年より東京藝術大学指揮科講師を30年間務めた。すみだトリフォニーホール・ジュニアオーケストラ音楽監督。女声合唱団ドンナ「かきつばた」ディレクター。愛知県立芸術大学客員教授（2015年～2020年）。公式ホームページ <https://yoko-matsuo.com/>



Kensuke Ohira PROFILE

オルガン独奏 **大平 健介**

東京藝術大学及び同大学院卒業。2010年よりDAAD給費留学生として渡独。ヴュルツブルク及びミュンヘン音楽大学にて学んだ。文化庁新進芸術家海外研修員。IONニュルンベルク国際オルガンコンクール優勝。2016-17年、シュトゥットガルト・ボトナングにてカントールを務めた他、ゾリテュード宮殿礼拝堂におけるコンサートシリーズの音楽監督も兼任。以後2020年まで、バーデン=ヴュルテンベルク州主教会-シュティフツ教会専属オルガニストとして教会内での多岐に渡る音楽プロジェクトに携わった。ドイツの様々な歴史的楽器でソロ、アンサンブル、通奏低音奏者として多数のCDをリリースしている他、ソリストとしてはこれまでに聖母教会（ドレスデン）、ミュンスター（フライブルク）、マドレーヌ寺院（パリ）、聖ポール大聖堂（ロンドン）等から招待を受けている。2021年に日本へ完全帰国し、現在は日本キリスト教団聖ヶ丘教会首席オルガニスト及び明治学院大学横浜主任オルガニストを務める。2022年よりアンサンブル室町芸術監督に就任。

(c)Julian Rettig

NAGOYA CITIZENS' ORCHESTRA

名古屋市管弦楽団



1958年「労音オーケストラ」として結成され、名古屋に本拠を置く社会人オーケストラとして自主的な活動を行っている。1968年に「名古屋市民管弦楽団」と改組。

1978年に名古屋市から「第3回名古屋市芸術奨励賞」を、1979年には愛知県から「愛知県芸術選奨文化賞」を受賞。1983年には、指揮者・小林研一郎に率いられ、ハンガリーのブダペストにて公演を行う。1992年には、名古屋市民芸術祭1992主催公演としてブッチーニのオペラ「トゥーランドット」を演奏し、好評を博した。その他、ガーシュイン「バリのアメリカ人」他のアメリカ音楽による演奏会（指揮：山田和樹）やラヴェル「ラ・ヴァルス」他のフランス音楽による演奏会（指揮：松尾葉子）、ホルスト「惑星」全曲（指揮：山下一史）、ファリャ「三角帽子」他のスペイン音楽による演奏会（指揮：松尾葉子）などの企画にも取り組む。2011年、名古屋マラー音楽祭参加公演としてマラー「交響曲第6番」（指揮：現田茂夫）を演奏。2018年、創立60周年を迎え、記念演奏会にてベートーヴェン「交響曲第9番」（指揮：山下一史）を演奏した。

団員募集中

詳細：当楽団ホームページ

<https://www.nco.jp/>